

# 御本尊還座式 報恩講2018



月刊 第68号

編集発行  
真宗大谷派 本龍寺  
安城市和泉町  
TEL.0566-92-0505

和泉の本龍寺

12月	時刻	ごんぎよう 勤行名	法話等	とき お斎=食事(用意)
5日(水)	10:00	ごほんそんげんざしき 御本尊還座式		
6日(木)	13:00	しよたいや 初速夜	かめいひろし 亀井鑛師	
	19:00	しよやごんぎよう 初夜勤行	ごてんしよう 御伝鈔/映画	
7日(金)	9:30	しよにつちゆう 初日中	ふじわらちかこ 藤原千佳子師	ほんぜん 本膳料理 (12:00)
	13:00	ちゆうたいや 中速夜	//	もちかえり 持帰弁当 (15:30)
	19:00	音楽法要 声楽とピアノのコンサート	ひらたせいこ 平田聖子師 おおたあきこ 大田亮子師	ほんぜん 本膳料理 (18:20) ※来賓用に用意
8日(土)	9:30	ちゆうにつちゆう 中日中	ゆずりさいけん 譲西賢師	ほんぜん 本膳料理 (12:00)
	13:00	おおたいや 大速夜	//	もちかえり 持帰弁当 (15:30)
	17:00	子ども報恩講 人形劇団	副住職 すずきじゅく	おにぎり&豚汁 (17:45)
9日(日)	9:30	けちがんにつちゆう 結願日中(楽)	つづきなおいち 都築直市師	ほんぜん 本膳料理 (12:00)

◆いよいよ新本堂での仏事がスタート◆報恩講前に御本尊を本堂へお還りいただく還座式を勤めます◆お勤め用『本龍寺報恩講大谷派声明集』を販売・貸出します◆お抹茶接待は同朋会館で(12~14時・日曜9~10時)毎日あります◆お斎は法話後の食事は拙寺特製精進料理(お昼時は本膳仕立・午後は持帰弁当仕立)をご用意◆新しい本堂を教えるに出来る念仏の道場へと、ともに育てて参りましょう

## ご講師の紹介

### ▼亀井鑛師

昭和4年名古屋生まれ。愛知商業学校卒業。本山『同朋新聞』元編集委員。NHK「こころの時代」元司会者。

### ▼藤原千佳子師

昭和17年桑名市生まれ。石川県浄秀寺前坊守。義祖父が藤原鉄乗師。

### ▼平田聖子師

昭和35年岡崎市生まれ。県立芸術大学卒業。ミュンヘン留学。作曲家。拙寺新本堂落慶記念に新曲を作曲。

### ▼大田亮子師

名古屋大圓寺生まれ。名古屋音楽大学声楽学科卒業。同大学院修了。ミノノ留学。声楽家。ソリストとして多く活躍中。名古屋音楽大学講師。

### ▼譲西賢師

昭和28年岐阜県慶円寺生まれ。名古屋大学卒業。同大学院博士課程満了。教育心理学者。臨床心理士。

### ▼人形劇団すずきじゅく

人形劇団「夢知遊座」人形劇研究所「鈴木塾」で8年間研鑽、卒業した女性3名のアマチュア人形劇団。

### ▼都築直市師

昭和5年和泉町生まれ。愛知第二師範学校卒業。市内小学校校長を歴任。『和泉町史』編集委員。町内在住。

この度、機縁が熟して新本堂の建立が成就されましたこと、ご協力ご尽力を賜りましたすべての方に厚く御礼申し上げます。

新しい本堂は、伝統的な寺院建築の技法に加え、現代建築の最新技術を盛り込んであります。今後予想される巨大地震にも耐える堅牢な構造、防火耐火対策、中央に柱のない広く高く明るい参詣席など、安心して快適にご利用頂けます。

建物は完成しました。これからは、新本堂を「念仏の道場」として育てていく番です。

念仏道場となるためには、教

えに触れて生きる元気がもたらえる言葉に「出遇えること」と、「私たちのお寺」として多くの方が参画することだと考えます。

参加でなく参画。本堂建設事業の中でも、御本尊動座式では焼香はもちろん、御身拭の儀も参列者全員で行いました。また、建設起工式では全員で地鎮の儀を行い、建設上棟式でも全員で紅白の綱

を引きました。みんなで「私たちのお寺」を、力を合わせて建てて頂くために。

本堂の落慶を記念して、作曲家の平田聖子先生に新曲を作って頂きました。歌詞は、親鸞聖人の「和讃」「弘誓のちからをかぶらずは」。平田先生は、新本堂を念仏の道場とするために「私は、本堂じゅうの参詣の皆さんと一緒に、



南無阿弥陀仏が歌える曲を作曲しました。」とメッセージを寄せて下さいました。

親鸞音頭は、昭和45(1970)年に真宗教団連合によって制定されました。3年後に「親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年慶讃法要」通称「誕八」を控えた時期でした。サトウハチロー作詞、安藤実親作曲。歌詞には親鸞

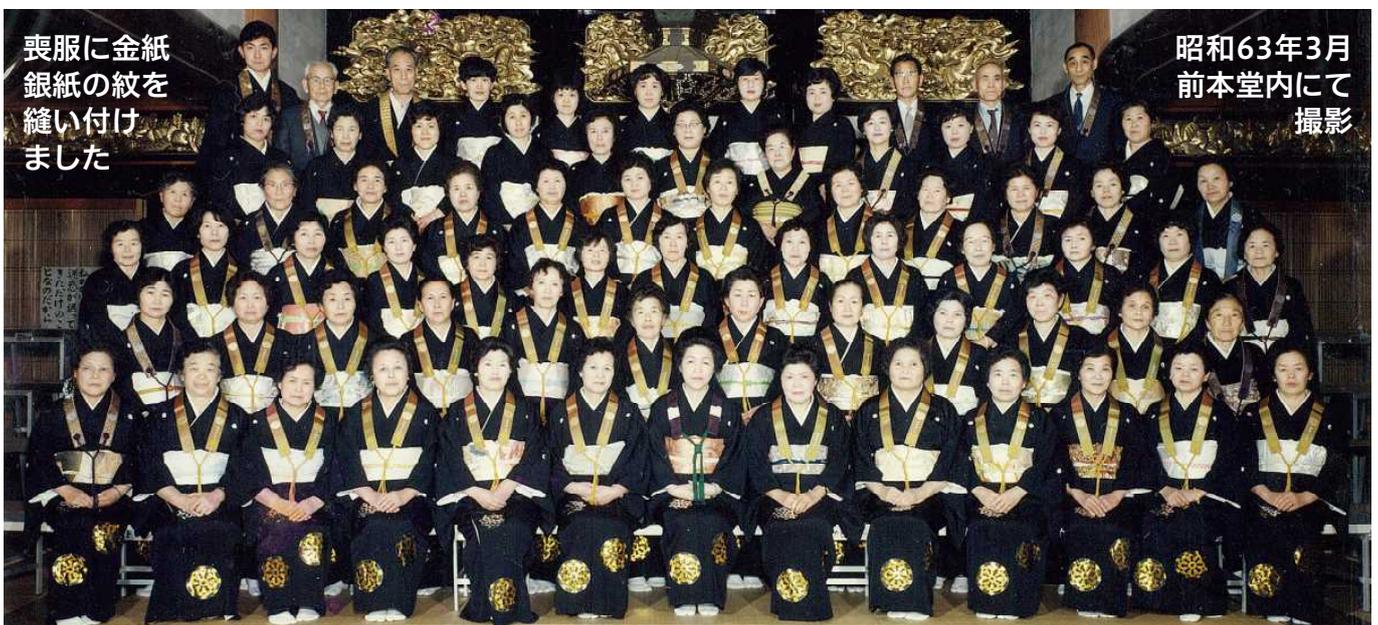
聖人の生涯が織り込まれ、水前寺清子の歌でレコード化もされました。

本龍寺では、昭和63(1988)年3月に同朋会館と水屋の落慶として「誕八」が勤まっています。

その際、当時のお寺の女性陣を総動員して親鸞音頭グループが結成され、大々的に踊りが披露されました。また、同時期に勤まった岡崎市の三河別院御遠忌でも出張公演し、大きな話題となりました。

来る来年3月、本堂落慶の御遠忌が勤まります。「参画する御遠忌」として31年ぶりに親鸞音頭を復活・公演します。

一人一人が「私たちのお寺」として主体的に関わっていく時、本堂が念仏の道場に育っていくのだと思うのです。



昭和63年3月 前本堂内にて撮影

喪服に金紙銀紙の紋を縫い付けました

### みどりの会一日研修 6月29日



京都の岡崎別院、金戒光明寺、岡崎茶寮豆狸、安楽寺、安養寺、円山公園への賑やかな研修

### 日帰り上山帰敬式 6月20日



京都・東本願寺に於いて自分らしい法名を親鸞聖人の前で厳粛に授かって来ました

行事写真報告

6月から  
9月まで

### 晓天講座 7月26・27日 早朝5時半から 小山正文師と榎山正樹師法話



### 恵信尼会一日研修 7月11日



同朋婦人会OGによる滋賀県石山寺蓮如堂、光徳寺・源兵衛首塚、大津プリンスホテル、三井寺への旅

### 秋季彼岸会・永代祠堂法要



9月22日 三島多聞師 23日 平田聖子師



### お盆 8月13・14・15日 お盆経、15日 戦没者 追弔会・初盆会、16日 盂蘭盆会・萬燈会



児童夏の集い

第31回

# 本堂建設事業経過報告

◆主な会議・事業・工事等◆

10月18日	10月9日	10月6日	10月4日	9月27日	9月22日	9月11日	8月27日	8月10日	8月8日	8月7日	8月2日	7月29日	7月22日	7月20日	7月13日	7月3日	7月2日	6月26日
建設企画委員会 建設小委員会																		



降り棟(くだりむね)と大棟(おおむね)の施工。写真は内陣屋根の西端部分。乾式耐震棟工法を採用。土や漆喰(しっくい)を使わず、瓦を下地材にビスで直接固定。軽量化と高強度、通気性を保有するのが大きな特徴。



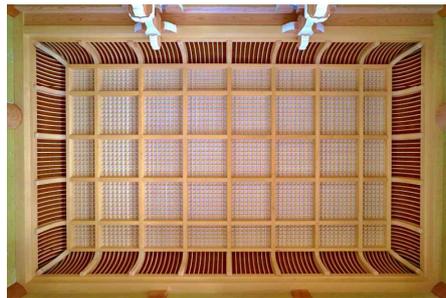
向拝(ごはい)の両隅に立つ逆さ獅子。最も高い大屋根の大棟(おおむね)施工。瓦はすべて三州瓦。連日の猛暑で屋根の作業は1時間が限界とか。本当にお疲れさまでした。



新本堂は大屋根(おおやね)・内陣屋根(ないじんやね)・下屋(げや)の3つの屋根を持ったT字型の入母屋(いりもや)撞木(しゅもく)屋根構造。右は最上部から内陣屋根を見下ろした図。左は下屋の南西角から全体を見上げた図。



外陣(げじん)13畳+大間(だいま)78畳+土間(どま)14畳。基礎梁(はり)高850ミリで全床下収納。大引(おおび)きを鋼製束(こうせいづか)で支え24ミリ厚構造用合板を床全面に。天井高4.8メートル。自然換気式の化粧不燃石膏(せっこう)吸音ボードに8畳LEDシーリングライト42個設置。堂内を明るさと昼光・電球色で調光可能。



余間(よま)天井は4.2メートル高で内陣の折上小組(おりあげこぐみ)格(ごう)天井に金箔(くろす)仕上げ。酷暑の中で頑張る職人さん方とお寺の役員80名でバーベキュー。



明治期前々本堂と戦後前本堂の三河ケヤキ材大虹梁(だいこうりょう)を外陣(げじん)框(かまち)として再々利用。4.95メートル幅、約800キ口。親鸞聖人を安置する場所。お厨子(ずし)と卓(しょく)間に通路を設定。



外壁は14ミリ厚の繊維強化セメント製珪酸(けいさん)カルシウム板。正面入口はフルオープンする折障子式二重ガラスサッシ。500ミリ高で中央が凸形に張り出したステージ型の外陣(げじん)。



# 阿弥陀さまのお還り式 御本尊還座式

あみだ

かえ

ごほんぞん

げんざしき

いよいよ新本堂完成の日が近づいて参りました。建物引渡しと竣工式については、建設委員会関係者のみで、12月1日に内勤めをさせて頂くことになっております。

一方、御本尊の阿弥陀如来さまは、2年前の秋季彼岸会の後、仮本堂の同朋会館へお移り頂いておりましたが、本堂落成にともなって本来の座にお還りになられます。つきましては、新築なった本堂に御本尊が「還座」される儀式を執り行います。今日までの仏恩を想い、感謝と喜びをもって本龍寺にご縁のある、あらゆる方々に立ち会って頂き、ともに勤めたいと存じます。

この歴史的な仏事に、ぜひご参詣賜りますよう、ご案内申し上げます。

平成30(2018)年 12月5日(水) 10:00～

会場 … 本龍寺 同朋会館 → 新本堂

内容 … 同朋会館出発式〈読経・焼香〉・御本尊還座〈お輿で移動し新本堂に安置〉

御本尊入仏法要〈読経・焼香・正信偈唱和〉・挨拶・乾杯

服装 … 略礼服〈男性は白ネクタイ着用〉、念珠、本龍寺羽織〈お持ちの方〉

平成28年9月24日  
↓ 御本尊動座式

その他 … 「御仏前」「お供え」などご心配いりません

お斎はありませんが、参詣者には全員にオリジナル

記念手ぬぐいを差し上げます ※記念撮影あり



真宗大谷派 本龍寺 本堂建設委員会

# 親鸞音頭 へのお誘い

しん らん おん ど

～ 本龍寺御遠忌・慶讃イベント ～

◎公演日 … 平成31(2019)年3月30日(土) 15:00～〔約20分〕

◎衣装 … 本龍寺羽織〔貸出用あり〕・着物または礼服・肩衣〔揃いのものを検討中〕

◎練習会 … ①平成30(2018)年12月21日(金) 19:30～ 新本堂にて

②平成31(2019)年 1月25日(金) // //

③ // 2月23日(土) // //

④ // 3月18日(月) // //

◎その他 … 男女・年齢・宗派・檀家を問わず、どなたでもご参加頂けます

昭和60年3月  
誕八慶讃法要での  
↓ 親鸞音頭



# 本堂落慶記念曲

作曲家の平田聖子先生が、本堂の落慶記念に、親鸞聖人ご和讃の新曲を作って下さいました。

弘誓のちからをかぶらずは  
いづれのときにか娑婆をいでん  
仏恩ふかくおもひつつ  
つねに弥陀を念ずべし

「この阿弥陀如来の働きを被らなかつたなら、永遠に娑婆を出入れなかつた。地獄に落ち、輪廻し続けていたことよ。ああ、阿弥陀如来の弘誓のちからで救われました。なんと嬉しいことでしょう。」

この慶びをいただきたい  
た上は、阿弥陀如来への御恩を深く思いつつ、つねに南無阿弥陀仏を称えなさい。」



※平田聖子先生訳

この和讃は、続く「娑婆永劫の苦をすてて」と対になっていて、前者は弥陀招喚（仏さまの願いが届いていること）の恩に報いることを、後者は釈迦発遣（仏法の先達）が背中を押してくれること」の恩に報いることをすすめたもの。新曲も、お念仏の音が二層構造に展開されて歌われます。

お寺で婚活2018



石川洋師 御染筆

↓これまでの開催の様子



## 〈通算〉第13回 12月22日(土) 14:30~20:00 (受付14:00~)

- 会場 本龍寺 同朋会館 & 境内
- 内容 正信偈・住職法話・グループディスカッション  
プロフィール交換・会食タイム・珈琲タイム  
連絡先(メール等)交換 ※念珠ご持参下さい
- 募集人数 30名以下 (男女とも10~15名程ずつ)
- 募集対象 男性 30~45才・女性 25~40才 ※年齢は原則  
結婚を真剣に考えている方
- 参加費 男性 5,000円・女性 4,000円 (開催当日徴収)
- 申込書 本龍寺に直接か HP から入手して下さい
- 申込方法 申込書を必ず本人が本龍寺にご持参下さい  
※申込内容により参加可否を選考することあり
- 締切日 12月9日(日)
- 約束 アルコールも出しますが飲酒運転はNO!

ダメです

本龍寺御遠忌日程表 平成31(2019)年

	3月30日(土)	3月31日(日)
9:00	本堂落慶奉告法要 〈本堂・1時間20分〉	宗祖親鸞聖人750回御遠忌 第一日中法要 〈本堂・1時間20分〉
10:00		
11:00	慶讃イベント① 〈本堂・1時間30分〉	稚児行列 《庭儀参道列》 行列コース = 1,300m
12:00	昼休み ※ビデオ上演・マルシェ・屋台等検討中	丈山小学校 [出発] ⇒ 本龍寺本堂参拝 ⇒ 境内南広場 ⇒ 丈山小学校 [解散]
13:00		
14:00	蓮如上人500回御遠忌法要 〈本堂・1時間20分〉	宗祖親鸞聖人750回御遠忌 第二日中法要 〈本堂・1時間20分〉
15:00	慶讃イベント② 〈本堂・1時間〉	満座御礼之義 〈本堂・40分〉

※慶讃イベント①	●祝舞 (西三河雅楽研究会) ●三河万歳 (丈山小学校)
	●仏教讃歌 (本龍寺合唱団 + 大谷大学OB混声合唱団 + 日曜学校卒業生 + 有志)
※慶讃イベント②	●親鸞音頭 (本龍寺同推会 + 有志 + 飛び入り?)

# お稚児さん 大募集中!

平成31(2019)年 **3月31日(日)** 11:00~13:00 実施  
 ※申込み受付順に時間枠が決定され時間差で行列が出発します  
 募集人数 **1,000名** 参加費 **7,000円** (稚児一人)  
 申込み 平成30年 **11月の土日 9:00~12:00** お寺にて  
 ※申込み受付は始まっています。先着1,000名で締め切ります

絵 近藤文字子氏 (豊明市在住)



第68号をお届け  
 します。御遠忌  
 のお稚児さん受  
 付が始まってい  
 ます。子ども日  
 曜学校に来てい  
 た可愛い卒業生  
 が、幼い子を抱  
 っこして申込み  
 に来てくれるこ  
 とが本当に嬉し  
 いです。連続無  
 窮のお寺の責任  
 と役割を思いま  
 す。〈頼〉

## あとがき

10月	9月	8月	7月
照らされて秋澄む里に我歩く	秋高し佇み仰ぐ新本堂	秋深し澄みて薨の光かな	生きたと遙かなことよ星月夜
杉浦陽子	早川道久	都築直市	早川三千代
			沓名光江
			沓名美津江
			川口慎吾
			早川道久
			樋口頼子

# 本龍俳壇

お寺や仏事にちなんだ歌をお寄せ  
 下さい。同朋会館に投句ボードを  
 常設中です。ぜひご覧下さい。